

# News Letter

宇都宮大学 女性研究者キャリア支援室  
Career development office for Women Researchers

Vol.8

2015.12

Gender  
Equality

平成 27 年 9 月 28 日(月)~10 月 2 日(金)

『宇都宮大学 男女共同参画週間』に合わせてイベントを開催しました

ご参加ありがとうございました



9月30日(水) OLE'S café

「男性交流セミナー ～介護とワーク・ライフ・バランス～」

介護に関する知識は、これからの高齢社会において必要不可欠と言えます。セミナーの時間が1時間と短かったものの、様々な立場の教職員の方々にご参加いただき、介護の問題点と仕事との両立について考え、また、参加者の経験談を聞くこともでき、介護を現実的に捉えることが出来たようです。当事者も踏まえたコミュニティを築くことの重要性を感じることができた時間となりました。



9月30日(水) ワーク・ライフ・バランスセミナー

「宇都宮大学における職場環境整備に関する意識調査」の結果を踏まえて

男女共同参画推進室 副室長の齋藤教授より、大学内の意識調査結果から、教職員のワーク・ライフ・バランスに対する関心の高さの報告があった後、C.K.コンサルティング&コーチングの近藤千園さんより、大学内でのワーク・ライフ・バランス促進の必要性を学びました。さらに、ワークを通して仕事と生活の現状を把握し、今後の仕事の取り組み方について考えました。



10月1日(木) Fe-le café

「女性ホッと交流セミナー～5年後のキャリアビジョン、10年後のライフプラン～」

彩ライフデザイン研究所 代表の川鍋節子さんを講師にお迎えし、今持つスキルや理想の働き方など、自分自身の想いを棚卸して長い人生を見つめました。参加者は有期雇用職員が多く、アンケートからはキャリア形成に悩む様子がうかがえ、継続開催の希望が多くありました。「聞く」「調べる」「やってみる」「観察」によって概念化能力(今まで無かった新しいものを生み出す力)を身につけ、「能力のある高齢者」になろうという、講師からの強いメッセージが心に残るセミナーとなりました。



10月1日(木) 宇都宮市共催

「学生のキャリアプランニング～レゴブロックで未来を描こう～」

本セミナーは、ライフプランのターニングポイントとなる「就職」「結婚」などを考慮しながら自分自身で進路を選択し、決定していくことのできる自主性のある若者育成を目的として、宇都宮市との共催で実施。Design Lab.t.s.d.c.代表の佐藤宏樹さんを講師にお迎えし、「仕事で大事にしたいことは?」「人生で行き詰ったときにどうする?」な



想いをグループ内でシェア

どのお題に沿って、レゴブロックを組み立て、グループ内でその想いをシェアしながら、自分自身の価値観に気づき、さらに夢実現のためにこれからできる事を考えました。参加者からは、「**ブロックを使ったことで考えが深まった」「自分の将来を具体的に考えることができた**」などの声があり、じっくりと自分自身に向き合った時間となりました。



10月2日(金) ハラスメントセミナー

「互いを認める人間関係を築くには～宇都宮大学の現状を考察する～」

最終日に実施した本セミナーには、教職員 40 名が参加し、「なぜ大学にとってハラスメント対策が必要なのか」を大学人としての倫理から学内の相談体制まで、東北大学吉武清實先生よりご教授いただきました。ハラスメントという言葉は誰もがよく耳にする言葉ですが、自分自身の課題としてはなかなか捉えにくいものです。参加者アンケートからも、「ハラスメントに関する理解や知識が不十分であった」「**他人事ではないと強く感じた。全員が問題意識として持つと良いと感じた**」「**学生にも受講の機会を設けるのがよい**」など、意識啓発が必要であるという感想が多数ありました。また、宇都宮大学におけるハラスメントの取り組みについては、「**取り組みはあるが改善が必要である**」との回答が7割を占め、今後必要な取り組みとして、ハラスメントに関する周知・教育はもちろん、実態を調査するアンケートの実施や、安心して相談できる相談体制、相談員や関係する職員への研修等があげられました。

閉会にあたり、茅野理事から、「本学の男女共同参画の実現に向け、継続できる事業展開が必要である」との心強いご挨拶をいただきました。

## 学生や職場の同僚から相談を受けた場合の注意点

- ①相談者の**気持ちに寄り添います**。
- ②「**あなたにも悪いところがあったのでは?**」等の発言は NG。  
二次被害をもたらす原因になります。  
※二次被害とは・・・直接的なハラスメント被害を「一時被害」とすると、周囲の人に相談したことにより、被害者が二次的に精神的苦痛や実質的な不利益または被害を受けることを言います。
- ③相談窓口など他機関に行くか否かは、あくまでも**相談者本人が決める**ことです。
- ④**相談を受けた日時や内容、相談者の様子など記録**します。その後、第三者への説明時などに役立ちます。
- ⑤相談された内容は、**本人の了解なしには決して他に漏らさない**。  
ただし、相談内容への対応の仕方や相談されたことに対して不安や心配なことがある場合には、相談窓口にご相談することもできます。

## 宇都宮大学における相談窓口

- ハラスメント相談員 (下記の URL に相談員の名簿が掲載されています)  
URL: [http://www3.cc.utsunomiya.ac.jp/uu/staff/campuslife/harassment\\_soudan.pdf](http://www3.cc.utsunomiya.ac.jp/uu/staff/campuslife/harassment_soudan.pdf)
- 女性研究者キャリア支援室 Tel: 028-649-5151 Mail: [gender@cc.utsunomiya-u.ac.jp](mailto:gender@cc.utsunomiya-u.ac.jp)
- 学生なんでも相談 Tel: 028-649-5072 Mail: [soudan@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp](mailto:soudan@miya.jm.utsunomiya-u.ac.jp)

当日配布資料より

Gender  
Equality

平成 28 年 2/15(月)

「女性研究者研究活動支援事業 総括シンポジウム」を開催します



本学は平成 25 年に「女性研究者研究活動支援事業（一般型）」に採択され、今年度がこの事業の最終年度となりました。これまで、多くの方のご協力により意識改革の推進や女性研究者の交流、相談体制の整備、教育研究環境整備など、さまざま

な事業に取り組んできました。

そこで、3 年間の成果を報告するとともに、来年度以降も発展的に男女共同参画の視点で事業が展開できるよう、総括シンポジウムを実施いたします。みなさまのご参加をお待ちしております。

文部科学省女性研究者研究活動支援事業 総括シンポジウム 日 時：平成 28 年 2 月 15 日（月）14:30～  
『女性の活躍による大学の活性化をめざして』 場 所：峰キャンパス UU プラザ 2F

第一部

- 基調講演 『大学における女性活躍促進～農工大の取組み』  
東京農工大学 副学長・女性未来育成機構 機構長 宮浦千里
- 全体報告 宇都宮大学農学部 教授・男女共同参画推進室 副室長 齋藤 潔



昨年度のシンポジウムの様子

第二部

- 個別報告 『研究補助員制度を活用して』 工学研究科 教授 大森 宜暁、教育学部 教授 鈴木啓子
- 『リケジョカフェを実施して』 工学研究科 助教 奈須野恵理、農学部 助教 福森理加

Reskilling

平成 27 年 9/17(木)

「英語プレゼンテーション  
スキルアップセミナー」を開催しました

UU プラザにおいて、第 1 回「自身の研究を効果的に発信するプレゼンテーション・スキルアップセミナー」が行われました。

さまざまな学部から多くの方にご参加いただき、前年度に引き続き大変満足度の高い有意義なセミナーとなりました。

参加者アンケートからは、「**実はプレゼンを教える授業を持っているのですが、自分なりのコツが今日教えていただいたことと合致していて自信となりました**」、「**非常に面白いプレゼンテーションでした。学内でこのようなセミナーの頻度を増やしてほしい**」、「**アクティビティを入れながらのセミナーはとても役に立った**」など、英語のプレゼンテーションやセミナーの内容についてとても前向きな感想が寄せられました。

第 2 回英語論文執筆セミナーは 2 月 19 日(金)です。本事業最後のスキルアップセミナーとなります。是非この機会に参加していただき、多くの方の英語論文執筆のスキルアップにつながることを願っています。



Fe-le café

平成 27 年 10/20(火)

陽東キャンパス

「女性ホッと交流セミナー～骨盤のしくみを知って  
しなやかなカラダをつくる～」を開催しました

肩こりや腰痛、生理不順など、女性の身体の悩みはさまざまですが、これらの多くに「骨盤」が関係しているのはご存知ですか。今回は身体の土台と言われる「骨盤」の役割としくみ、トラブルを予防・改善するための簡単なエクササイズを学びました。

講師は、宇都宮市にある医療法人親仁会佐藤病院の理学療法士 桑原由梨さん。桑原さんは幅広い年代の患者と接するうちに、悩みや症状の違いに男女差のある「骨盤」について、特に関心をもち、2 年前から勤務先の病院等で無料の骨盤セミナーを実施されています。「妊娠や出産の時に、骨盤付近に負荷がかかり、骨盤底筋(骨盤の底で内臓を支える筋肉群)と靭帯は伸ばされ傷つきます。普段から骨盤を動かせる意識をもつことが重要です」と、



講師  
桑原由梨さん

毎日の生活の中に骨盤を意識したエクササイズを取り入れるとの必要性をお話いただきました。

参加者は、6 月開催の峰キャンパスと合わせて 35 名。和やかな雰囲気の中で、自分自身の身体への理解を深めた時間となりました。



座ってできる簡単な  
エクササイズを体験

【編集・発行】

宇都宮大学 女性研究者キャリア支援室 (Fe-le)

<http://kyodo-sankaku.utsunomiya-u.ac.jp/>

〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町 350 5 号館 3 階

TEL・FAX：028-649-5151

e-mail：gender@cc.utsunomiya-u.ac.jp



Facebookは  
こちらからどうぞ

宇都宮大学 参画 検索

HPはこちらからでも  
アクセスできます→

